

適期中干しを実施し、収量・品質を高めましょう！

1. 中干し・溝切りの効果

- (1) 過剰生育を抑制 ⇒ 有効茎を確保 ⇒ **品質向上！！**
- (2) 受光態勢の向上 ⇒ 倒伏軽減効果 ⇒ **品質向上！！**
- (3) 土壌への酸素供給により根を健全化します。
- (4) 秋のコンバイン収穫作業が可能な地耐力を確保できます。
- (5) 溝切りによりフェーン等の緊急時の迅速なかん水が可能となります。
- (6) 溝切りにより秋の長雨による停滞水の容易な排水が可能となります。



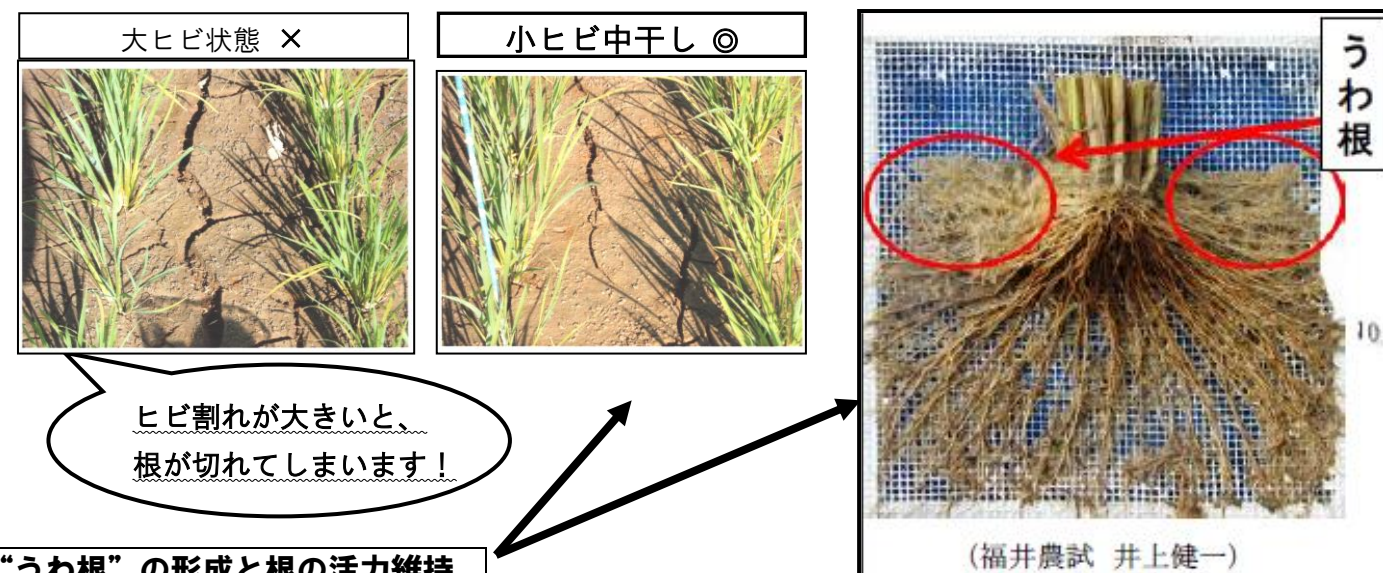
※中干しが不十分であると、生育が過剰傾向となって倒伏が助長されます。

中干しが不十分だと、総粒数が過剰傾向となり、乳心白等の未熟粒や玄米タンパク質含有率が高くなります。特に早生品種の大豆作付後圃場や基盤整備後圃場では生育過剰になりやすいため、早めに中干しを開始し、生育調節を行いましょう。



2. 中干し・溝切りの方法と点検

- (1) 中干しの程度は田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度まで行います。



“うわ根”の形成と根の活力維持

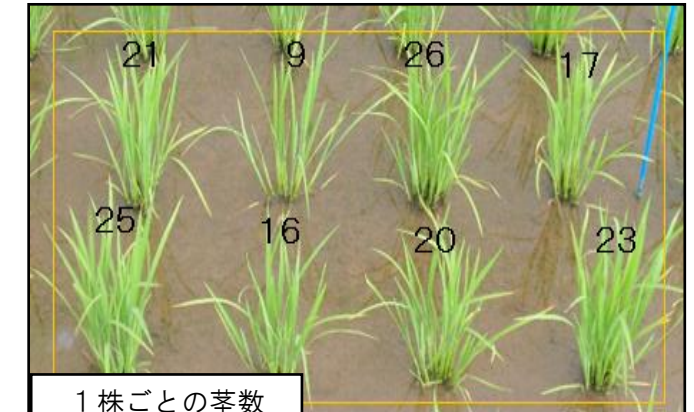
穂肥やケイ酸など肥料効果を十分に発揮させる為、“うわ根”を切断しない「小ヒビ中干し」を行いましょう。

- (2) 溝の間隔は2.5m、深さは10cm程度を確保し、溝の末端は必ず排水口につなげて下さい。
- (3) 毎年苦労するほ場の軟らかい所は、溝の間隔を狭くして溝数を増やすと効果的です。
- (4) **中干し溝の額縁点検（収穫時地耐力確保、高温時の短時間かん水、秋の長雨対策）**
※ 天候不順な年ほど効果大！ 溝は、必ず排水口につなげましょう。

コシヒカリ中干し開始適期の状態



写真の状態では、すでに中干し開始時期を過ぎていきます（平均20本/株です）



3. 中干し・溝切り時期のめやす

＜過剰生育のブレーキは早めに!!＞

- (1) **田植え後30日をめやすに落水し中干しを開始しましょう。**
田植時期が遅い場合、本格的な梅雨時期と重なるため、早めに中干しを開始しましょう。
- (2) 中干し程度は、**田面に小ヒビが入る程度**とし、大ヒビの入る強い中干しは避けましょう。
- (3) **中干し期間は2～3週間をめやすとしましょう。**
※中干しが不十分であると、生育が過剰傾向となって倒伏・品質低下が助長されます。

【エコ・5-5 コシヒカリ】注) ()内は本/株

地 区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/㎡	中干し開始のめやす		中干し終了の晩限
			茎 数	時期	
長 岡 地 区 (50 株/坪)	5 月 10～15 日	340(22)	15本/株	6月10日	7月5日
	5 月 20 日以降			6月15日	

【エコ・5-5 こしいぶき】注) ()内は本/株

地 区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/㎡	中干し開始のめやす		中干し終了の晩限
			茎 数	時期	
長 岡 地 区 (60 株/坪)	5 月 5～10 日	350(19)	15本/株	6月10日	6月末

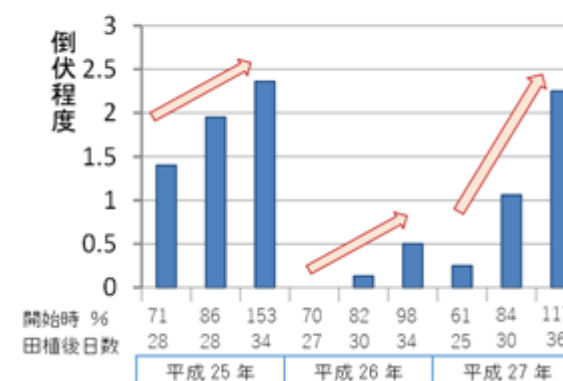
◎こしいぶきは生育量確保と除草剤処理層維持のため6月10日を目途に中干しを開始しましょう。

◎地力が高い、排水が悪い、例年倒伏が懸念されるほ場（重粘土壤等）の場合は、上記のめやすより2日程度早く中干しを開始し、早めの溝切りとやや強めの中干しにより粒数過剰の抑制と倒伏防止を図りましょう。

◎砂壤土等の水はけのよい低地力ほ場では、茎数が少ない段階で中干しに入ると穂数確保ができず少収となる場合があるので、目標穂数の8割を確保した段階で中干しに入りましょう。
【コシヒカリ:18本/株（50株植え）、こしいぶき：15～16本/株（60株植え）】

4. 中干しが遅れた場合の影響

中干し開始が遅くなるほど、成熟期の倒伏程度は大きくなります。



中干し開始時期が遅くなると倒伏が増加する

図 中干し開始時期と成熟期の倒伏（作物研究センター）

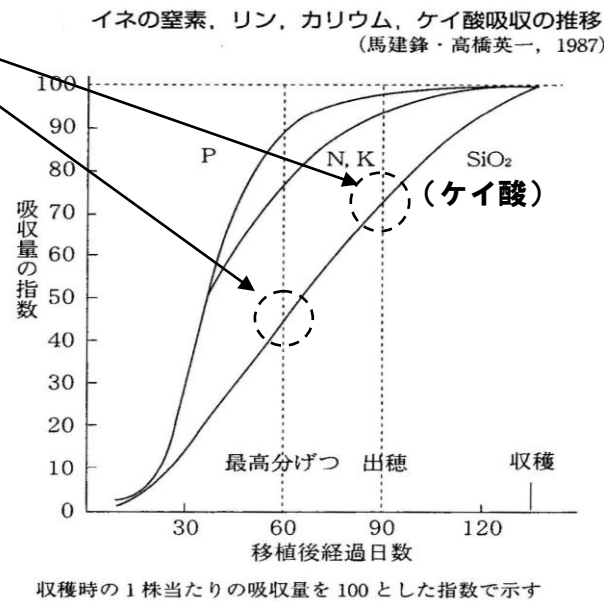
※有機50%肥料栽培、平成25～27年。開始時%は目標穂数（350本/㎡）に対する中干し開始時の茎数の比率。田植後日数は中干し開始時

5. ケイ酸肥料の散布

(1) ながおか地区の令和6年度土壌分析結果ではケイ酸が不足している状態にあります！
健全な稲体づくりに向けてケイ酸肥料を施用しましょう。

◎ケイ酸の吸収は生育前期よりも生育後期の方が多く、最高分けつ期頃で50%、出穂期以降も生育期間全体の30%近くが吸収されます。

- (2) ケイ酸肥料の効果
- ①光合成を促進して、品質向上に役立ちます。
 - ②耐倒伏性の向上に役立ちます。
 - ③籾が丈夫になることで、「ふ割れ」やカメムシ被害の軽減に役立ちます。
 - ④ごま葉枯れ病の抑制に役立ちます。
 - ⑤高温下での過剰蒸散を防ぎ、水分ストレスによる白未熟粒や胴割粒の発生軽減に役立ちます。



(3) 散布時期
6月末～7月上旬（幼穂形成期前）
※稲がケイ酸を吸収するには水が必要です。ケイ酸肥料を散布の際は、ほ場に水を入れましょう。

(4) 主なケイ酸肥料【令和7年5月現在の税込価格】※表示価格は当用未収配達価格です。

けい酸加里プレミア 34

施用量：20～60 kg/10a
ケイ酸成分：34%
価 格：3,290 円
規 格：20 kg

加里、苦土、ほう素を含むケイ酸肥料

みつパワー

施用量：40～60 kg/10a
ケイ酸成分：25%
価 格：1,510 円
規 格：20 kg

鉄、マンガン等を含むケイ酸肥料

スーパーシリカプレミアム

施用量：20～40 kg/10a
ケイ酸成分：30%
価 格：1,930 円
規 格：20kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

ウォーターシリカ

施用量：15～30 kg/10a
ケイ酸成分：17%
価 格：4,900 円
規 格：15 kg

水口施用が可能な省力型肥料

ニューミスター

施用量：15～30 kg/10a
ケイ酸成分：32%
価 格：1,670 円
規 格：15 kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

マルチサポートFe

施用量：20～40 kg/10a
ケイ酸成分：12%
価 格：1,879 円
規 格：20 kg

ケイ酸と鉄を主体とした総合微量要素肥料

6. 雑草対策

(1) 取り残したヒエは、「クリンチャー」で除草しましょう。
※エコ・5-5 運動参加圃場では、長岡地域全品種と栃尾・山古志地域コシヒカリのみクリンチャーを使用できます。
(1 ㌦粒剤・EW（乳剤）・ジャンボ剤のいずれかの剤型1回のみ使用できます。)

除草剤名	使用量		使用方法
クリンチャー	1 ㌦粒剤	1.5 kg/10a	移植後 25 日～ノビエ 5 葉期 但し、収穫 30 日前迄
	E W(乳剤)	100ml/10a	移植後 20 日～ノビエ 6 葉期 但し、収穫 30 日前迄
	ジャンボ	小包装 (パック) 30 個 (1.5kg)	移植後 25 日～ノビエ 5 葉期 但し、収穫 30 日前迄

(2) 取り残したヒエ以外の雑草は、「バサグラン」で除草しましょう。
※エコ・5-5 運動参加圃場では、全域・全品種でバサグランを使用できます。

除草剤名	使用量		使用時期
バサグラン	粒剤	3～4 kg/10a	移植後 15 日 ～ 収穫 45 日前迄 ※令和 6 年 10 月 30 日付で 使用時期が適用拡大されました。
	液剤	500～700ml/10a	

(3) クリンチャーバスME液剤【長岡地区エコ・5-5運動取組圃場での注意】
「クリンチャーバス ME 液剤」使用の場合は、クリンチャー及びバサグラン単剤での使用はできません。

(4) 畦畔除草（斑点米カメムシ対策）
今年も 3 ケ月長期予報では気温が高い予報にあることから、雑草が繁茂しやすくカメムシが多く発生する可能性があります。
イネ科雑草や水田内雑草(特にイヌホタルイ)の管理に注意！！
除草剤を散布する場合は、畦畔散布に登録がある除草剤を使用し、農業ラベルに記載してある使用方法を守って散布して下さい！

草刈り4つの効果

- ① エサをなくす
- ② すみかをなくす
- ③ 産卵場所をなくす
- ④ 薬剤をかりやすくする

【注意】農道・畦畔で除草剤を散布する際は、必ず風の無い時間帯に飛散防止ノズルを付けて散布し、飛散しないよう十分注意して下さい。

7. 病害防除

■長岡地区エコ・5-5 運動取組圃場で使用できる「いもち病」・「紋枯病」防除農薬

薬剤名	適用病害	使用量	散布時期
フジワン モンカット粒剤	いもち病 紋枯病	3～4kg/10a	出穂 30～10 日前、但し、収穫 30 日前まで
フジワン粒剤 1 ㌦粒剤 パック 乳剤 水和剤	いもち病	3～5kg/10a	葉いもち：初発 7 日～10 日前、穂いもち：出穂 10～30 日前、但し、収穫 30 日前まで（パックは収穫 14 日前まで）
		1～1.5kg/10a	
		10～15 個/10a	
		1000 倍 60～150ℓ/10a	収穫 14 日前まで
モンカット粒剤	紋枯病	3～4kg/10a	出穂 30～10 日前、但し、14 日前まで

【使用方法】
・湛水状態（水深 3～5 cm）で均一に散布し、3～4 日は湛水状態を保つ。
・使用回数はいずれの薬剤も 1 回のみ。
※ 注意 ※
①フジワンモンカット粒剤を使用した場合は、フジワン剤及びモンカット粒剤は使用できません。
②わたぼうしは、フジワン剤のみ使用可能です。

お問い合わせ先	ながおか営農センター ☎0120-91-5882 ながおか西営農センター ☎0120-91-5883
---------	--